



2024年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年12月13日

上場会社名 株式会社スマレジ 上場取引所 東
コード番号 4431 URL <https://corp.smaregi.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 博士
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高間館 紘平 (TEL) 06-7777-2405
四半期報告書提出予定日 2023年12月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の業績 (2023年5月1日~2023年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	3,947	49.4	835	113.1	835	111.8	558	11.7
2023年4月期第2四半期	2,641	37.5	391	△9.4	394	△6.7	500	76.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2024年4月期第2四半期	円 銭 29.16		円 銭 29.04					
2023年4月期第2四半期	円 銭 26.02		円 銭 25.92					

(注) 2023年4月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年4月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年4月期第2四半期	百万円 7,047	百万円 5,314	% 75.4
2023年4月期	百万円 6,156	百万円 4,681	% 76.0

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 5,314百万円 2023年4月期 4,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年4月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年4月期	円 銭 —	円 銭 0.00			
2024年4月期(予想)			円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の業績予想 (2023年5月1日~2024年4月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,012	35.5	1,303	45.8	1,303	45.4	884	△0.3	46.17

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 業績予想の修正については、本日開示いたしました「2024年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年4月期2Q	19,659,000株	2023年4月期	19,635,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年4月期2Q	453,702株	2023年4月期	484,702株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年4月期2Q	19,165,024株	2023年4月期2Q	19,222,791株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年12月14日（木）に決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。また、決算補足説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年5月1日から2023年10月31日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への引き下げ後、経済活動の回復に伴う雇用環境の改善や外食などのサービス分野の需要増加、賃金の伸び率拡大等を背景に緩やかな回復が続いております。

一方、リバウンド消費一巡後において物価上昇を理由に消費者マインドが悪化するおそれや人手不足による財・サービスの供給に制約がかかる等の景気下振れ要因も多く含まれており、先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

当社POSシステムのメインユーザーである飲食等のサービス業界や小売業界におきましては、円安の進行を主要因とした物価高のマイナス影響はありますが、行動制限緩和による個人消費の増加や訪日外国人観光客数の回復に伴うインバウンド消費の増加といった内外需の伸びに支えられ、景気は回復基調での推移が続いております。

このような状況のなか、当社の当第2四半期累計期間においては、有料プラン店舗数が引き続き堅調に増加すると共に、POS商談時に決済や勤怠管理システムを併せて提案するクロスセル施策の積極的な実施が奏功したこと、価格改定による顧客単価の向上等により、売上高は前年同四半期と比べて増加し、ARRが50億円を突破いたしました。

組織力の増強を目的とした積極的な採用活動による従業員数の増加に伴い人件費が増加し、商談数の増加を目的とした新ショールーム開設に伴い賃借料等が増加しておりますが、新入社員に対するオンボーディングカリキュラムの定着により早期の戦力化が図れていることや広告宣伝費をはじめとしたコストの効率化に努めたこともあり、営業利益、経常利益についても前年同四半期と比べて増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は3,947百万円(前年同四半期比49.4%増)、営業利益は835百万円(前年同四半期比113.1%増)、経常利益は835百万円(前年同四半期比111.8%増)、四半期純利益は558百万円(前年同四半期比11.7%増)となりました。

なお、当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

販売高前年同期比

(単位:千円)

販売内訳	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	前年同期比(%)
月額利用料等	1,526,161	2,383,014	+56.1
機器販売等	1,059,704	1,473,603	+39.1
その他	56,049	90,415	+61.3
合計	2,641,916	3,947,033	+49.4

「スマレジ」の登録店舗数、アクティブ店舗数及び累積取扱高の推移は以下のとおりであります。

登録店舗数の推移

	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2023年10月
スタンダード	67,895	76,745	86,275	97,210	103,356
プレミアム	2,755	3,212	4,345	5,647	6,465
プレミアムプラス	4,976	6,425	8,196	9,793	11,344
フードビジネス	2,687	3,179	3,865	4,711	5,149
リテールビジネス	5,481	6,604	7,782	8,885	9,619
フード&リテール	104	148	260	374	455
店舗合計	83,898	96,313	110,723	126,620	136,388

※スタンダードは無料プランとなっております。それ以外は有料プランとなっており、プラン毎にサービス内容が異なります。また店舗数の定義は、有料プラン無料プランに関わらず、実際に「スマレジ」でサインアップを行い、登録された店舗数です。お客様1社が複数の店舗を保有されている場合は、その店舗数分カウントされます。

アクティブ店舗数（プラン別登録店舗数に対するアクティブ店舗数の比率(%)）の推移

	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2023年10月
スタンダード	4,889 (7.2)	6,012 (7.8)	6,970 (8.1)	8,186 (8.4)	9,183 (8.9)
プレミアム	2,308 (83.8)	3,029 (94.3)	4,147 (95.4)	5,420 (96.0)	6,157 (95.2)
プレミアムプラス	4,640 (93.3)	6,169 (96.0)	7,833 (95.6)	9,330 (95.3)	10,797 (95.2)
フードビジネス	2,473 (92.0)	3,022 (95.1)	3,675 (95.1)	4,491 (95.3)	4,919 (95.5)
リテールビジネス	5,210 (95.1)	6,382 (96.6)	7,475 (96.1)	8,578 (96.5)	9,216 (95.8)
フード&リテール	96 (92.3)	145 (98.0)	255 (98.1)	370 (98.9)	450 (98.9)
アクティブ 店舗合計	19,616 (23.4)	24,759 (25.7)	30,355 (27.4)	36,375 (28.7)	40,722 (29.9)

累積取扱高の推移

	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2023年10月
累積取扱高 (百万円)	2,610,754	3,468,715	4,605,960	6,243,138	7,254,127

※累積取扱高とは、クラウド型POSレジ「スマレジ」のサービス開始以降、ユーザーが「スマレジ」を使って販売した商品やサービスの金額の合計をいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて771百万円増加し、5,931百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が700百万円増加したこと等によるものであります。当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べて118百万円増加し、1,115百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産が21百万円減少したものの、有形固定資産が140百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて890百万円増加し、7,047百万円となりました。

② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて242百万円増加し、1,631百万円となりました。この主な要因は、預り金が46百万円、買掛金が42百万円減少したものの、未払法人税等が134百万円、賞与引当金が143百万円増加したこと等によるものであります。当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べて15百万円増加し、102百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて257百万円増加し、1,733百万円となりました。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて632百万円増加し、5,314百万円となりました。これは、主に四半期純利益を558百万円計上したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ700百万円増加し、4,658百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は893百万円(前年同四半期は480百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益835百万円の計上、売上債権の減少額181百万円及び賞与引当金の増加額143百万円等の一方で、棚卸資産の増加額152百万円及び法人税等の支払額134百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は201百万円(前年同四半期は155百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出169百万円及び無形固定資産の取得による支出28百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は7百万円(前年同四半期は448百万円の使用)となりました。これは主に、株式の発行による収入7百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期通期の売上高は、堅調な顧客獲得に加えて、2024年7月に予定されている新紙幣に対応するための自動釣銭機のシステム改造の売上高約1.8億円が今期に寄与することとなり、当初発表した予想を若干上回る見込みであります。また、中期経営計画に基づき積極的な事業投資を継続しておりますが、効率を重視した広告宣伝費の見直しにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は、当初発表した予想を上回る見込みであります。

詳細につきましては、本日開示いたしました「2024年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,957,469	4,658,249
売掛金	553,114	444,021
商品	451,552	604,132
前払費用	102,508	96,281
その他	95,912	129,478
貸倒引当金	△519	△416
流動資産合計	5,160,039	5,931,746
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	88,096	154,595
工具、器具及び備品(純額)	39,996	114,068
有形固定資産合計	128,092	268,664
無形固定資産		
のれん	16,357	14,354
商標権	794	721
ソフトウェア	210,684	208,817
ソフトウェア仮勘定	84,479	71,237
その他	20,828	16,792
無形固定資産合計	333,144	311,923
投資その他の資産		
投資有価証券	29,870	39,871
出資金	18	18
敷金	248,915	240,900
繰延税金資産	240,965	236,639
その他	15,842	17,703
投資その他の資産合計	535,611	535,132
固定資産合計	996,848	1,115,719
資産合計	6,156,888	7,047,466

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,632	147,690
未払金	254,190	300,055
未払費用	71,619	57,949
未払法人税等	170,918	305,746
未払消費税等	111,544	89,625
前受金	468,892	541,523
預り金	60,094	13,859
賞与引当金	—	143,730
資産除去債務	5,236	6,870
その他	55,544	24,056
流動負債合計	1,388,672	1,631,107
固定負債		
資産除去債務	87,064	102,296
固定負債合計	87,064	102,296
負債合計	1,475,736	1,733,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150,539	1,154,464
資本剰余金	1,134,274	1,160,445
利益剰余金	3,071,610	3,630,469
自己株式	△675,272	△631,316
株主資本合計	4,681,151	5,314,062
純資産合計	4,681,151	5,314,062
負債純資産合計	6,156,888	7,047,466

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
売上高	2,641,916	3,947,033
売上原価	1,034,758	1,495,896
売上総利益	1,607,157	2,451,137
販売費及び一般管理費	1,215,272	1,615,980
営業利益	391,884	835,156
営業外収益		
受取利息	169	20
受取家賃	2,640	—
その他	64	1,605
営業外収益合計	2,873	1,625
営業外費用		
その他	447	1,534
営業外費用合計	447	1,534
経常利益	394,310	835,247
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	58,293	—
特別利益合計	58,293	—
税引前四半期純利益	452,604	835,247
法人税、住民税及び事業税	141,418	272,063
法人税等調整額	△189,034	4,325
法人税等合計	△47,616	276,389
四半期純利益	500,220	558,858

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	452,604	835,247
減価償却費	69,116	94,693
長期前払費用償却額	18	900
のれん償却額	1,669	2,002
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,135	△103
賞与引当金の増減額 (△は減少)	69,456	143,730
受取利息及び受取配当金	△169	△20
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△58,293	—
売上債権の増減額 (△は増加)	131,046	181,724
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,485	△152,579
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,412	△42,941
未払金の増減額 (△は減少)	△106,273	45,865
その他	41,541	△79,718
小計	567,652	1,028,800
利息及び配当金の受取額	169	20
法人税等の支払額	△87,194	△134,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	480,627	893,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,485	△169,502
無形固定資産の取得による支出	△42,734	△28,392
投資有価証券の取得による支出	△19,880	△10,001
差入保証金の差入による支出	△3,793	△6,519
差入保証金の回収による収入	5,058	8,595
資産除去債務の履行による支出	—	△1,269
事業譲受による支出	△52,736	—
その他	△1,128	6,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,698	△201,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	7,850
自己株式の取得による支出	△448,175	—
その他	△134	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△448,309	7,850
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△123,380	700,779
現金及び現金同等物の期首残高	3,511,282	3,957,469
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	218,415	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,606,317	4,658,249

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。